



## 災害危険箇所対策について（平成16年12月定例会）

私は、災害が起きてから復旧することよりも、被害を未然に防止し、貴重な生命や財産を守るための事前予防対策が、何より重要であると考えております。

山口県の土石流・急傾斜地すべりという、土砂災害の危険箇所数の合計は2万箇所以上に上り、全国第3位にランクされているそうです。是非、市町村とも連携をとりながら、最も危険度の高い箇所から、年次計画を立てて整備し、災害に備えるべきだと思いますが、県のお考えをお尋ねします。

### 【土木部長答弁】

財政状況は一段と厳しさを増しており、より一層事業の重点化を図る必要があることから、本年度より、過去に土砂災害が発生した地域、災害時に援護を要する方々のための施設や避難場所に関する施設などの保全を優先した土砂災害対策に取り組むことにいたしました。

市町村とも連携しながら、土砂災害に関する「危険箇所の周知」や「緊急時の情報の伝達」にも重点的に取り組んでいるほか、土砂災害が発生するおそれがある区域等の指定に向け、鋭意取組を進めております。

今後とも、「県民の安心・安全」を確保するため、災害危険箇所対策を、計画的かつ着実に推進してまいります。